

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4-IV-3

4-IV-3

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	民泊や遊休施設活用の推進
節	IV.ホスピタリティの醸成	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	3 農家民泊データベース整備 ※修学旅行対応	関連団体	佐渡地域振興局(企画振興部、農林水産振興部)
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】 ○ ピーク時の宿泊施設不足への対応として、主に修学旅行向けの農家民泊の推進を図る。		
	【事業内容】 ○ 島内の受入可能な農家民泊のデータベースを作成し、情報の一元化を図る。		
事業計画と実績	【R2年度計画】 ● 定期的なデータベースの更新を行う。		
	【R2年度実績】 ● 農家民泊データベースの更新を行った。		
課題・今後の取組	【課題】 ■ 定期的な更新作業のため、特に課題はない。		
	【今後の取組】 ■ 定期的なデータベースの更新を行う。		
事業評価	【事業の達成度】 ◇概ね計画どおりに事業実施できているためBとした。 [a (b) c] 【事業実施の効果】 [a (b) c] 【総合評価】 [A (B) C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。